



第11回 楠笑祭

校長 廣 渕 徹 志 (Principal Hirofumi Tetsushi)

～ おこのみやき ～



今年度は4年ぶりに新型コロナウイルス感染症の影響のない、全校生徒による『楠笑祭』が30・31日両日で開催されました。

今年度のスローガンは2年1組工藤小晴さんが考えてくれた『おこのみやき』になりました。これは、具材によって味が変わる「お好み焼き」、全クラスそれぞれの良さがあって、一人ひとりの声が混ざることによって一体感が出るという意味です。また、



- 「お」は、おかわり (何度も聞きたくなる合唱)
- 「こ」は、個性
- 「の」は、濃厚な (思い出、印象に残る)
- 「み」は、実る (努力して良い結果が来る)
- 「や」は、やる気
- 「き」は、協力

を含んでいます。楠笑祭実行委員の目標『たこやき』と共通して同じ粉ものということで掛けています。

1日目は鎌倉芸術館での「合唱の部」が行われ、1年生から3年生という順に各クラスが発表をし、最後は全校で“ふるさと”を合唱しました。今年度は保護者の方々だけではなく、学校運営協議会委員の方々にもご来場いただき、生徒の歌声、合唱を聴いていただきました。

西本郷中学校ブロックでは、「コミュニケーション能力を高め、主体的に『まち』で生きる子ども」を小中9年間で育てようと様々な取組を行っています。小菅ヶ谷・笠間、さらには栄区・横浜市という自分たちの生まれ育った『まち』(ふるさと)を愛し、担う人に成長してくれたらという願いがあり、子どもたちにその思いが育まれることを期待しています。

東日本大震災の後、「ふるさと」が涙ながらに合唱される光景をよく見かけました。そこには住み慣れたわが家へ一刻も早く帰りたいという被災した方々の願いが込められていました。この「ふるさと」の作詞は、高野辰之氏です。出身地長野県中野市(旧豊田村)の風景がモデルになっています。2年時に実施している自然教室の長野県戸狩(飯山市)のとなりになります。

2日目は本校での展示発表、ステージ発表を行いました。教科の学習成果や文化部の日頃の成果を展示・ステージという形で発表しました。

学校行事は、必要なコミュニケーションだったり、人とのつきあいかたなど、見えない所で、いろいろなものを学ぶことができ、その中でも生徒が主体的に活動し、互いにぶつかりあいながらも一人ひとりを信じてクラスが一つになり、一つの曲を奏でる。そこに感動や喜び、達成感を

味わうことができるのが合唱だと思ひます。

今年度のスローガン“おこのみやき”のもとで、開・閉祭式を含め、楠笑祭実行委員長（田中義樹くん）を中心に、実行委員が企画・運営を行い、素晴らしい「楠笑祭」を作り上げることができ、平成の時代から新たな西本中文化祭の歴史を継承し、その1ページを築いてくれたと思ひます。実行委員の生徒のみなさんには心からありがたいの言葉を贈りたいと思ひます。

～合唱の部～



< 全校合唱・学年合唱 “ふるさと” >

	指揮者	伴奏者
1 学年	力武千緒子	三好 望
2 学年	小西 実里	松山 広夢
3 学年	尾形 咲季	水谷 春音
全 校	尾形 咲季	水谷 春音

兔追ひし彼の山 小鮒釣りし彼の川
 夢は今も巡りて 忘れ難き故郷

如何にいます父母 恙無しや友がき
 雨に風につけても 思ひ出ずる故郷

志を果たして いつの日にか歸らむ
 山は青き故郷 水は清き故郷

< 1 学年 >

順	クラス	合唱曲	指揮者	伴奏者	賞
1	4 組	怪獣のバラード	阿部 波音	若林 希	ワクワクしたで賞
2	2 組	Believe	寺田 美羽	滋賀 梨音	気持ちがこもっていたで賞
3	3 組	涙をこえて	高原 麻央	伊藤 智帆	パワフルで賞
4	1 組	変わらないもの	塚田 晴喜	鈴木 彩寧	心に残ったで賞

< 2 学年 >

順	クラス	合唱曲	指揮者	伴奏者	賞
1	3 組	あなたへ	木島 綾子	大澤 一稀	ハーモニー賞
2	4 組	心の瞳	佐藤 遙	鈴木 香苗	心に残ったで賞
3	2 組	地球星歌 ～笑顔のために～	大阪 穂果	松山 広夢	団 結 賞
4	1 組	旅立ちの時 ～Asian Dream Song～	小西 実里	渡邊 光	プロ並みで賞

< 3 学年 >

順	クラス	合唱曲	指揮者	伴奏者	賞
1	1 組	いつまでも	石附 奈桜	水谷 春音	気持ちがこもっていたで賞
2	3 組	信じる	服部 桜	松永 莉奈	迫力があつたで賞
3	2 組	ほらね、	陣川 瑠奈	橋本瑠利子	プロ並みで賞
4	4 組	聞こえる	丸井嶺太郎	加藤 亮祐	胸キュンで賞

< 全校合唱 ♪ ふるさと ♪ >

校長 廣淵徹志

今年度の楠笑祭合唱の部では、“ふるさと”を全校・学年で歌いました。西本郷中ブロックでは小・中9年間で育てる子ども像を『コミュニケーション能力を高め、主体的に「まち」で生きる子ども』としています。子どもたちがやがて未来を担う世代になった時、いかに地域づくりで貢献できる人になってくれるか。「ふるさと」を思う気持ちをもてるか。この小菅ヶ谷・笠間地区のみなさんも様々な面で支援してくださっています。

特に最後の全校合唱で、この“ふるさと”を来賓の学校運営協議会や保護者の方々が聴いて、非常に感動したとの感想をいただきました。校長の私自身も胸にジーンとこみ上げ、生まれ育った北海道の風景が思い起こされました。

～ 3年生 合唱 ～



3年1組 いつまでも



3年2組 ほらね、



3年3組 信じる



3年4組 聞こえる



《 講 評 》

音楽科 米田先生

学校生活での様々な制限が緩和され、今年もこうやって盛大に楠笑祭が開催でき、うれしく思っています。マスクの着用も自由となり、練習や本番も、人との距離をとることなく、お互いの声を聴きあいながら行う合唱は、本当に素晴らしいものであるように感じています。講評ということで、私からは学年ごとに、合唱の発表を聴いて感じたことをお話します。

まず1年生のみなさん、中学校に入学して初めての合唱はどうでしたか？広い客席、明るい照明、たくさんの観客…。きっといつもとは違う緊張感を味わったことと思います。しかし、その中で一生懸命声を出して歌っている姿がとても印象的でした。全体的に元気いっぱいの演奏で、聞いているこちらにも元気をもらえる、そんな合唱でした。ぜひ来年、再来年は先輩方のような素晴らしい合唱を作り上げられるよう、表現に磨きをかけていきましょう。これからの成長に期待しています。

2年生のみなさん、まずは「ふるさと」の学年合唱から元気いっぱいの演奏を披露してくれて、とても頼もしさを感じました。昨年度みなさんに「とにかく元気ががんばろう！」という気持ちが強くあり、どのクラスも一生懸命、元気いっぱいに歌っている姿がとてもすてきでした」とお伝えしましたが、昨年度からさらにパワーアップしたみなさんの歌声に感動しました。各クラスの合唱曲も、表現力が増し、聴き応えのある素晴らしい合唱でした。来年度はいよいよ最上級生となり、さらにすてきで、素晴らしい合唱を聴かせてくれることを楽しみにしています。



3年生のみなさんは、とにかく「素晴らしい」の一言です。1年生のときのみなさんの歌声を思い返し、声の成長を実感しました。大人の声になりつつあるみなさんの歌声は、1・2年生に大きな影響を与えてくれました。どのクラスも気持ちがこもっていて、自分たちが選んだ歌を、心を込めて一生懸命歌っている姿にとっても感動しました。人数が少ないクラスもありましたが、それを感じさせない、最上級生としての立派な姿を見せてくれました。みなさんの気持ちがこもった歌声は、多くの人の心を動かす、素晴らしいものでした。ぜひ、この経験や思い出が今後のみなさんの生活に活かされていくことを願っています。

最後に、今年度の楠笑祭を成功に導いてくれた実行委員の皆さんへ、大きな感謝を伝えたいと思います。会場準備等を始めとして、楠笑祭の運営を担い、一生懸命自らの仕事に取り組む姿がとても立派でした。

そして、昨年度も伝えたことですが、縁があって同じクラスになった仲間と、縁があって出会えた楽曲を作り上げる中で、たくさんのかげがえのない思い出が生まれたと思います。音楽は「時間芸術」であり、今日この場で作った音楽は、二度と同じものは生まれません。合唱までの練習も含め、仲間とともに取り組んできたこの日々を大切にして、今後の学校生活を大切に、送ってもらいたいと思います。

今年もみなさんの気持ちがこもった、一生懸命な合唱に、たくさん心を動かされました。みなさんの今までの練習の成果が発揮された、素晴らしい音楽を聴かせていただき、本当にありがとうございました！

楠笑祭実行委員長の言葉

楠笑祭実行委員長 田中義樹さん（3-3）

皆さん、先日は楠笑祭おつかれさまでした。

今年は新型コロナウイルスの影響を受けることなく、昨年度よりも拡大した状態で合唱の部・展示の部・発表の部と、大きな制限もなく楠笑祭が実施できました。生徒の皆さんや先生方、そして実行委員の協力のおかげで、大きなトラブルもなく、無事に楠笑祭を終えることができたと思っています。本当にありがとうございました。



合唱の部では、クラスや学年が一体となって作り上げた合唱曲の発表や鑑賞の楽しさ、展示の部では、一人ひとりが日頃の学習等の成果を発揮し、それを展示物として鑑賞する学びが、発表の部では、部活動やスピーチの発表、合唱の表彰など、楠笑祭を通しての喜びがあったかと思います。今年は「おこのみやき」というスローガンの名の下で楠笑祭をむかえ、多くの経験や体験をしたと思います。それらを思い出として残し、これからの学校生活に生かしてほしいと思います。

最後になりますが、私自身も委員長という大きな責任がある立場の中で初めての経験やプレッシャーもありましたが、皆さんに支えられ、温かく見守っていただいたおかげで最後までやり遂げることができました。私はこれが最後の楠笑祭となりますが、後輩のみなさんにはぜひ、この素晴らしい伝統を受け継いでほしいと思います。本当にありがとうございました。

☆ 展示発表 ☆

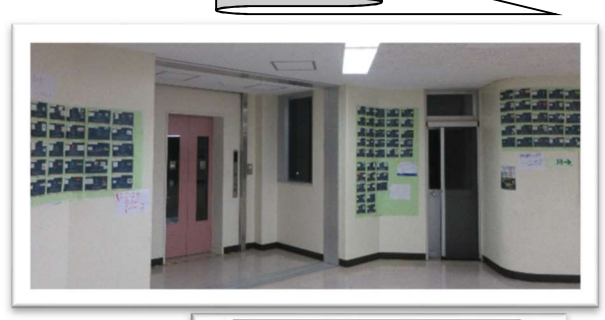


社 会 科

3年戦争と平和の本を読んだ

2年沖縄本紹介カード

1年アジア・アフリカード



美 術 科

6組各教科発表

修学旅行 SDGs 3年事後学習



国 語 科

理 科

図書委員会



ふれあいコンサート

復活!



西本郷中学校で開催されていた『ふれあいコンサート』が10月28日(土)に復活しました。

中学校・高等学校・大学・地域(P T A)と世代を超え、音楽を通して「秋」を感じていただきました。

音楽は人の心を和ませ、前向きに生きようとする力を与えてくれます。音楽療法につきましては、教育はもとより医療や福祉などさまざまな分野において活用され、そのニーズも近年急速に高まっており多くの効果が期待されています。

近年、短く感じるようになった「秋」を感じながら、西本郷中学校・柏陽高等学校・鎌倉女子大学・地域の方々の演奏・合唱を、多くの方々に楽しんでいただきました。当日は121人の観客が来場し、出演者・運営に携わっていただいたP T Aや地域コーディネーターを合わせると134名に参加いただきました。

今年度の反省を生かしながら、来年度はさらに地域に愛される「ふれあいコンサート」にして行きたいと思えます。

また、鎌倉女子大学シルフィード・アンサンブルや Kasama カンタービレ、ときめけ!かさまビックリファミリーバンドの活動、西本郷中学校・県立柏陽高校の吹奏楽部の定期演奏会等に足を運んでいただければ、幸いです。

Kasama カンタービレ



ときめけ!かさまビックリファミリーバンド



鎌倉女子大学 シルフィード・アンサンブル



神奈川県立柏陽高等学校 吹奏楽部



西本郷中 吹奏楽部



中学生の「税についての作文」

“栄区長賞” 深井 颯真さん (3年1組)

今年度の中学生の「税についての作文」(全国納税貯蓄組合連合会・国税庁主催)において、深井颯真さんの『税で守られた命』が栄区長賞を受賞しました。11月17日(金)に戸塚区役所において令和5年度納税表彰式に参加しました。

尚、入選作品は、各地区の「全納連ニュース」等に掲載されます。

人権週間・障害者週間といじめ防止啓発月間

人権週間



12月10日は1948年に国連総会で世界人権宣言が採択された日です。この日を『人権デー』としています。さらに日本においては、毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定めています。

人権尊重とは、“そばにいる人を大切にすること” そのためには、“相手の立場に立って考える”、“相手の話をしっかり聞く”、そして、“自分の考えをしっかりと言う”ことです。社会は高齢化の時代を迎えています。どうせ生きるのなら、人の役に立つ生き方を……。鏡の前に立って、自分を知る、自分を振り返ることから始めてみましょう！

障害者週間



1975年12月9日に「障害者の権利宣言」が国連総会で採択され、その後、12月3日を「国際障害者デー」と宣言されました。日本では12月9日を「障害者の日」とし、「国際障害者デー」の12月3日から「障害者の日」の9日までを「障害者週間」として定めています。

私たちは、障害の有無にかかわらず、誰もが皆、住み慣れた地域で「あたりまえの暮らし」ができるようにしていきたいですね。

いじめ防止啓発月間

横浜市では横浜市いじめ防止基本方針に基づき、児童生徒をいじめから守り、社会全体でいじめ防止に取り組むため、12月を「横浜市いじめ防止啓発月間」とし、全市的にいじめ防止の啓発を図っています。

- いじめ防止啓発ポスターの掲示
- 市営地下鉄の車内中吊り広告
- 「いじめ防止市民フォーラム」の開催

12月1日（金）14:00～15:35（受付13:30）横浜市役所1階 アトリウム
< テーマ >

「オール横浜でつながり、広げる、いじめの未然防止の輪」
～ いじめをなくすために、私ができること ～

学校生活や日常生活の中で、またふとしたことから言葉のはき違えや誤解、また、相手に対して自分は冗談のつもり、ちょっとしたからかい、いたずらなどから相手を傷つけたり、「いじめ」に発展したりすることが多いように思えます。一人ひとりを尊重するというベースの心を持って、さらにお互いに理解するためにコミュニケーション（顔と顔を合わせた）を大切にすることです。「誰もが安心して生活できる学校」にしましょう！

お知らせ

- | | | |
|-------------------------|------|-----------|
| 1. 全学年 | 個人面談 | 12月5～8日 |
| 2. 第3回学校運営協議会（西本郷小・笠間小） | | 12月13日（水） |
| 3. 生徒会役員選挙・投票 | | 12月15日（金） |
| 4. 学習相談 | | 12月18日（月） |
| 5. 大掃除 | | 12月22日（金） |
| 6. 2学期終業式 | | 12月25日（月） |

